

## 令和4年度大雪山国立公園入山者数の推計結果（登山者カウンター等カウント値結果）

- 対象とする登山口

令和4年度は、下表の登山口を対象とした。位置図は別紙のとおり。なお、現時点では利用者が少なく、登山者カウンターを設置して人数を計測しても、全体数の誤差の範囲に含まれてしまうと考えられる登山口は対象にしていない。

- 結果の概要

①月別の入山者数は、最も多い月が9月、その次が7月であると考えられる。

②入山者が多い上位3登山口は、姿見の池（旭岳方面）、十勝岳温泉（安政火口）、黒岳登山口である。

なお、熱感知式カウンターの精度検証の結果から入山者数の実数はカウント値よりも一定程度少ないと考える必要がある。令和4年度6月～10月期の大雪山国立公園の年間のカウント数を単純に合計した値について、これまでに実施した精度検証の結果から、仮に誤差が約110%～148%と仮定すると、大雪山国立公園全体の入山者数は約9～11万人の間にあると考えられる。

登山口	年間	6月	7月	8月	9月	10月	推計方法	カウンター設置期間
1 黒岳登山口	17,000	—	4,100	3,600	8,400	1,400	熱感知式カウンターからの推計	令和4年7月4日～10月7日
2 銀泉台登山口（第一花園下）	11,000	—	3,300	2,400	4,600	400	熱感知式カウンターからの推計	令和4年7月1日～10月3日
3 高原温泉登山口（緑岳コース）	2,900	200	1,000	700	900	200	熱感知式カウンターからの推計	令和4年7月19日～10月11日
4 高原温泉登山口（沼めぐり登山コース）	5,700	300	200	300	4,100	800	ヒグマ情報センター利用者数資料	
5 クチャンベツ登山口	1,500	40～60	400	500	500	40～60	熱感知式カウンターからの推計	令和4年6月10日～10月11日
6 松仙園登山口	700	—	50～100	50～100	500	0～50	熱感知式カウンターからの推計	令和4年7月14日～9月30日
7 愛山溪温泉登山口	2,000	0～50	500	400	900	200	熱感知式カウンターからの推計	令和4年6月28日～10月13日
8 姿見の池（裾合平方面）	9,000	700	3,900	1,000	3,000	400	熱感知式カウンターからの推計	令和4年6月3日～10月19日
9 姿見の池（旭岳方面）	26,000	2,100	7,100	6,600	8,800	1,600	熱感知式カウンターからの推計	令和4年6月3日～10月19日
10 美瑛富士登山口	1,400	200	400	400	400	100	熱感知式カウンターからの推計	令和4年6月2日～10月18日
11 天人峡登山口	400	50～100	100	0～50	50～100	100	人感センサー式カメラからの推計	令和4年6月1日～10月21日
12 十勝岳登山口（美瑛岳方面）	1,100	100	300	300	300	50～100	熱感知式カウンターからの推計	令和4年6月2日～10月18日
13 十勝岳登山口（十勝岳方面）	10,000	1,600	3,100	2,700	2,200	500	熱感知式カウンターからの推計	令和4年6月2日～10月18日
14 十勝岳温泉（安政火口）	19,000	2,400	4,400	4,200	3,900	3,800	熱感知式カウンターからの推計	令和4年6月14日～10月18日
15 原始ヶ原登山口	1,400	100	400	400	300	100	熱感知式カウンターからの推計	令和4年6月14日～10月18日
16 十勝岳新得側登山口	50～100	0～50	0～50	0～50	0～50	0～50	国有林入林簿からの推計	
17 トムラウシ山登山口（短縮コース）	1,900	50～100	900	400	400	50～100	赤外線式カウンターからの推計	令和4年5月23日～10月11日
18 トムラウシ山登山口（温泉コース）	500	0～50	40～60	300	200	0～50	熱感知式カウンターからの推計	令和4年5月23日～10月11日
19 石狩岳登山口	800	50～100	300	200	200	40～60	熱感知式カウンターからの推計	令和4年5月24日～10月12日
20 ユニ石狩岳登山口	200	0～50	0～50	0～50	50～100	0～50	国有林入林簿からの推計	
21 ニベツツ山登山口（幌加温泉コース）	1,000	100	300	300	300	40～60	熱感知式カウンターからの推計	令和4年5月24日～10月12日
22 ウベベサンケ山糠平コース登山口	50～100	0～50	0～50	0～50	0～50	0～50	熱感知式カウンターからの推計	令和4年5月24日～10月12日
23 白雲山土幌側登山口	700	200	50～100	200	100	200	国有林入林簿からの推計	
24 白雲山鹿追側登山口	1,700	300	200	300	400	500	国有林入林簿からの推計	
25 東ヌプカウシヌブリ登山口	1,700	200	200	400	500	400	国有林入林簿からの推計	
26 南ペトウトル山登山口	200	0～50	0～50	40～60	50～100	50～100	国有林入林簿からの推計	

●計測手法ごとに実数に対して多い又は少ない傾向にあるといった計測値の特性が異なること、同じ計測手法であっても熱感知式カウンターの場合は場所により誤差が異なることも考慮に入れて、次のように取り扱った。

①登山口ごとに、月別にカウントした生データの値を記入した。登山口ごとの年間合計と、月別の合計値は、これらの値を単純に足し合わせた値である。

②明らかなエラー値については、除去した。

③上記①で求められた値のそれぞれについて、次のように表記した。

・1000以上の数値については、有効数字を左2桁として、3桁目を四捨五入した。

・100～999の数値については、10の位を四捨五入した。

・0～39の数値については「0～50」、40～60の数値については「40～60」、61～99の数値については「50～100」と表記した。

●上記の操作を行ったため、次の点に注意が必要である。

①登山口ごとの各月別のカウント値の合計と登山口ごとの年間のカウント値の合計は一致しない。②各月の登山口ごとの人数の合計と、各月の合計の人数は一致しない。

●登山者カウンターは、雪解け後、できる限り早い時期に設置しようとしているため、設置以前に入山した登山者は把握できない。積雪により登山者カウンターが回収することができない可能性があるため、回収を急いだ登山口については、撤去後の登山者は把握できない。

●参考

・銀泉台（第一花園上）でも計測をしており、その値は、年間 9,600、6月 700、7月 3,700、8月 1,400、9月 3,800、10月 0～50であった。銀泉台（第一花園下）の計測値との差は、銀泉台（第一花園）のみを探勝した人の数を意味する。

・姿見の池周回コースのみを散策した者の数は、この表には含まれていない。

・松仙園登山道が令和4年7月14日から同年9月30日まで開通、植生保護のため、登り一方通行の運用としており、同登山口から入山する登山者の把握を行った。

・クチャンベツ登山口に至る林道が平成28年7月31日の大雨で通行止めとなっていたが、復旧し、令和2年度より通行可能となったため、同年より登山者の把握を行っている。

・ウペペサンケ山は、令和3年9月中旬以降、カウンター前を通らない短縮路が試行開削されたが、短縮路の利用者数は把握を行っていない。

・雪解けの早い然別湖外輪山については3月から入山があり、国有林入林簿からの推計では、3～5月に、白雲山土幌側登山口：400、白雲山鹿追側登山口：300、南ベトウトル山：0～50、東ヌブカウシヌブリ：200であった。